

## セルリのカルテック栽培

(10アール当り)

時期	方法	資材
地力作り	なるべく早い時期に	<b>ラクトバチルス</b> 600g … 排水よく、乾燥しにくい肥沃な土を作ります <b>堆厩肥</b> 1トン以上～5トン (多いほど良い) <b>尿素</b> 60kg ※もし通常の複合肥料なら、チッソ成分25～30kg ※土壌pHが酸性(5.5以下)の場合は、 <b>畑のカルシウム60kg</b> も加えて地力作りをしてください。
整地時	整地・ウネ作り時に全面散布、またはウネ上に散布	<b>畑のカルシウム</b> (または <b>カルテックCa粒状</b> ) 80kg ※通常、多肥により土壌の酸性化が激しくなるので、畑のカルシウムで中和してください。 好適な土壌pH:5.5～6.5(生育中の全期間 5.5以上であること) ※カルシウム栄養が軟腐やス入りを防止し、品質を向上させます。
育苗	散水時に使用	<b>濃縮酵素液</b> 1000倍 … 根を強く張らせ、生長を促進 ※播種時、移植時(2～3葉)には、特に大事 <b>カルテックCa液状</b> 1000倍 … 葉を厚くし、充実させ、徒長防止 ※酵素液から3～4日後、定植(7～8葉)の3日前
定植時	定植前後の灌水の時に	<b>濃縮酵素液</b> 500倍液…活着・初期の根張り促進, 病害軽減
前半	葉面散布(交互に)	<b>濃縮酵素液</b> 500倍液を葉面散布 (根・生長の促進) ※前半は特に根の力をつけることが大事です。チッソ過多にはしないように注意。(もしチッソを補給する場合はアミノ酸液) <b>カルテックCa液状</b> 500倍 (生育を引締め、葉の病害対策) ※チッソ過多が心配な時は、カルシウムを繰り返す。
	灌水	灌水量を多めに十分に深く染み込ませる。灌水の間隔は長めにとる。 灌水の時、 <b>濃縮酵素液</b> を2リットル程度(300倍前後)加えると、特に根が強く働いて、生長が進みます。 ※定植後30～40日、脇芽カキの直後に 酵素液を使用。
追肥	定植後40日頃以降、10～15日間隔で三回	<b>硫安</b> 30～40kg ……生長量を増大させる
	※右記を同時に施用	<b>畑のカルシウム</b> (または <b>カルテックCa粒状</b> ) 30～40kg ……品質を向上させる、軟腐・芯腐れ防止 ※高品質のためには、必ずチッソとカルシウムとを 同量 施します。 ※追肥は必ず株から遠く離して均一に散布してください。 根にあたる土は全層に pH:5.5～6.0、EC:0.2～0.4 厳守。
仕上げ	収穫前10日頃、葉面散布	<b>カルテックCa液状</b> 500倍 (充実を進め、旨味を増し、品質を向上させます)